

安全データシート

硫酸鉄（乾燥）

1. 化学物質及び会社情報

| | |
|----------|-------------------|
| 化学物質の名称 | 硫酸鉄（乾燥） |
| 会社名 | ニッチク薬品工業株式会社 |
| 住所 | 神奈川県綾瀬市早川 2630 番地 |
| 担当部署 | 品質保証部 |
| 電話番号 | 0467-78-0831 |
| FAX 番号 | 0467-76-1016 |
| 緊急時の電話番号 | 同上 |
| 用途 | 飼料または飼料添加物 |
| 使用上の注意 | なし |

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | | |
|-----------|--------------|--------|
| 物理化学的危険性 | 火薬類 | 分類対象外 |
| | 可燃性・引火性ガス | 分類対象外 |
| | 可燃性・引火性エアゾール | 分類対象外 |
| | 支燃性・酸化性ガス | 分類対象外 |
| | 高压ガス | 分類対象外 |
| | 引火性液体 | 分類対象外 |
| | 可燃性固体 | 区分外 |
| | 自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| | 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| | 自然発火性固体 | 分類できない |
| | 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| | 水反応可燃性化学品 | 区分外 |
| | 酸化性液体 | 分類対象外 |
| | 酸化性固体 | 区分外 |
| | 有機過酸化物 | 分類対象外 |
| | 金属腐食性物質 | 分類できない |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性（経口） | 区分 4 |
| | 急性毒性（経皮） | 分類できない |

| | |
|--------------------------|--------|
| 急性毒性（吸入・ガス） | 分類対象外 |
| 急性毒性（吸入・蒸気） | 分類対象外 |
| 急性毒性（吸入・粉じん） | 分類できない |
| 急性毒性（吸入：ミスト） | 分類できない |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性 | 分類できない |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（単回ば く露） | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（反復ば く露） | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 水生環境有害性（急性） | 区分3 |
| 水生環境有害性（長期間） | 区分外 |

ラベル要素

絵表示または
シンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告
飲み込むと有害
水生生物に有害

注意書き

【安全対策】
取扱後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】
飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。
口をすすぐこと。

【保管】
施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

| | |
|--------------------|--|
| 単一製品・混合物の区分 | 単一製品 |
| 化学名又は一般名 | 硫酸鉄第一鉄・一水和物 |
| 化学式（分子量） | FeSO ₄ ・H ₂ O（169.923） |
| 濃度又は濃度範囲 | 情報なし |
| 官報公示整理番号（化審法） | 1-359 |
| 官報公示整理番号（安衛法） | -（既存化学物質） |
| CAS No. | 7720-78-7 |
| EINECS No. | 231-753-5 |
| 分類に寄与する不純物及び安定化添加物 | なし |
| 危険有害性成分 | 鉄水溶性塩 労働安全衛生法第 57 条の 2 第 1 項「通知対象物質」に該当 |

4. 応急措置

| | |
|-----------------------|---|
| 吸入した場合 | 新鮮な空気の場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 多量の水と石けんでやさしく洗うこと。直ちに医師に連絡すること。 |
| 眼に入った場合 | 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合、医師に連絡すること。 |
| 飲み込んだ場合 | 口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | 情報なし |
| 応急措置をする者の保護 | 情報なし |
| 医師に対する特別な注意事項 | 情報なし |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|--|
| 消火剤 | 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 |
| 使ってはならない消火剤 | 棒状放水 |
| 特有の危険有害性 | 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。 |
| 特有の消火方法 | 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 |
| 消火を行う者の保護 | 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|---------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置 | 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。 |
| 環境に対する注意事項 | 環境中に放出してはならない。 |
| 封じ込め及び浄化の方法 及び機材 | 回収・中和：漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。 封じ込め及び浄化方法・機材：水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 二次災害の防止策：プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。 |

7. 取り扱い及び保管上の注意

| | |
|-----------|--|
| 取り扱い | |
| 技術的対策 | 技術的対策：『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 局所排気・全体換気：『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 |
| 安全取扱い注意事項 | 環境への放出を避けること。 |
| 接触回避 | 情報なし |
| 衛生対策 | 取扱い後は手をよく洗うこと。 |
| 保管 | |
| 安全な保管条件 | 技術的対策：特別に技術的対策は必要としない。 |

保管条件：特に技術的対策は必要としない。
容器を密閉して保管すること。

安全な容器包装材料 情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 未設定

許容濃度

日本産衛学会（2013年度版） 未設定

ACGIH（2013年版） 未設定

設備対策

特別な換気要求事項はない。

本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。

保護具

呼吸用保護具 適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具 適切な手袋を着用すること。

眼の保護具 適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 固体

色 青緑

臭い 無臭

臭いのしきい値 情報なし

pH pH=3~4 (20°C) : GESTIS(2013)

融点・凝固点 約 60°C : NITE(2013)

沸点、初留点及び沸騰範囲 情報なし

困

引火点 不燃性 : NITE(2013)

蒸発速度（酢酸ブチル=1） 情報なし

燃焼性（固体、気体） 情報なし

燃焼又は爆発範囲 不燃性 : NITE(2013)

蒸気圧 14.6mmHg [換算値 1946Pa] : NITE(2013)

| | |
|--------------------|---|
| 蒸気密度 | 情報なし |
| 比重（相対密度） | 1.897 : Merck (14th, 2006) |
| 溶解度 | 水 : 256 g/L at 20°C : GESTIS(2013) 有機: アルコールにほとんど溶けない。: Merck (14th, 2006) |
| n-オクタノール／水分配 係数 | 情報なし |
| 自然発火温度 | 不燃性 : NITE (2013) |
| 分解温度 | 情報なし |
| 粘度（粘性率） | 情報なし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-----------------------------|
| 反応性 | 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。 |
| 化学的安定性 | 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。 |
| 危険有害反応可能性 | 情報なし |
| 避けるべき条件 | 情報なし |
| 混触危険物質 | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし |

11. 有害性情報

| | |
|-----------------------|--|
| 急性毒性 経口 | ラットの LD50 値として、1,389 mg/kg (EPA Pesticide (1993))、> 2,000 mg/kg (厚労省既存化学物質毒性データベース (Access on October 2013)) (OECD TG 401) の報告がある。区分 4 と区分外の該当数が同じであり、ガイダンスに従って区分 4 とした。 |
| 経皮 | 分類できない |
| 吸入 : ガス | 分類対象外 |
| 吸入 : 蒸気 | 分類対象外 |
| 吸入 : 粉じん 及びミスト | 分類できない |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性 | 分類できない |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |

| | |
|-----------------|--------|
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |

12. 環境影響情報

生態毒性

| | |
|--------------|--|
| 水生環境有害性（急性） | 甲殻類（オオミジンコ）による 48 時間 EC50 = 91 mg/L（SIDS, 2008）であることから、区分 3 とした。 |
| 水生環境有害性（長期間） | 分類できない。 |

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報と、分類実施中の 12 項の環境影響情報とに、基づく修正の必要がある。

国際規則

| | |
|------------|-------|
| 国連番号 | 該当しない |
| 国連品名 | |
| 国連危険有害性クラス | |
| 副次危険容器等級 | |

| | |
|--|---|
| 海洋汚染物質 | 該当しない |
| MARPOL73/78 附属書Ⅱ及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 | 該当しない |
| 国内規制 | |
| 海上規制情報 | 該当しない |
| 航空規制情報 | 該当しない |
| 陸上規制情報 | 該当しない |
| 特別安全対策 | 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 |
| 緊急時応急措置指針番号 | 該当しない |

15. 適用法令

| | |
|---------|---|
| 労働安全衛生法 | 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） |
| 水質汚濁防止法 | 指定物質 |
| 下水道法 | 水質基準物質 |
| 水道法 | 有害物質、水質基準 |

16. その他の情報

飼料品質改善協議会プレミックス研究会が作成した SDS を元に、硫酸鉄（Ⅱ）・七水和物の厚生労働省職場のあんぜんサイトモデル SDS および NITE 統合版 政府による GHS 分類結果、GHS 改訂を参考に修正を加えたものです。すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報に漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定などにご利用される場合は、別途、資料や文献を調査し検討されるか、試験によって確かめることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常取り扱いを想定してお

り、特殊な取り扱いの場合には、別途注意が必要になることをご配慮ください。

<引用文献>

各データ毎に記載した。

<改訂履歴>

| 版 | 日付 | 内容 |
|-----|------------|---------------|
| 初版 | 2001年5月18日 | — |
| 第2版 | 2016年2月19日 | GHS対応 |
| 第3版 | 2021年10月7日 | ニッチク改訂 |
| 第4版 | 2024年1月1日 | 用途及び使用上の注意を追加 |